



羽曳野市広報 石井康晴 撮影
シャッタースピード 30 秒 ISO1600
WB : 白熱電球 5月 26 日撮影

応神陵古墳のヒメボタル

今年の応神陵古墳ヒメボタル初見は5月14日でした、一昨年から3度目の立入調査を延べ10日間行いましたが、夜間低温など気象条件が原因で最多生息確認数は5月26日855匹と低調に終わりました、ちなみに昨年5月27日の調査では2,543匹を数えています。

本年初めての取り組みとして市民を募り古墳外部からの観察会を4回行ないました、参加人数は延べ250人におよぶ大盛況でした。観察会冒頭にヒメボタルを見た事がある人は？とお訊ねしましたが1割にも及ばず、逆に参加された方々から「市外や他府県に観に行っていたのに、

こんなに近くの地元でホタルを観られるとは感激」との声が上がっていました。ご協力を頂いた地元自治会の皆様、観察会場を提供して頂いた菅田八幡宮様に紙面を借りて御礼申し上げます。

環境省：環境カウンセラー、大阪府自然環境保全指導員 福田 裕
☎ 090-8144-5037

写真解説：応神陵古墳外堤のヒメボタル *Hotaria parvula* 体調オス 7mm メス 5～6mm 程度、小さいながら青金色の強い閃光を放ち低層をゆっくり飛び、メスも発光するが飛ぶ事が出来ない。

調査担当：岩田賢二郎、福田裕

オオキンケイギク

特定外来生物指定：オオキンケイギク

北アメリカ原産、キク科多年生草本、学名 *Coreopsis lanceolata*

繁殖力が強く強靱で、5～7月にオレンジがかった黄色の美しい花畑を形成します。一時期河川公園や法面緑化に利用されていましたが、在来生態系の脅威となる事が判り、特定外来生物に指定され、栽培や移動などが制限されています。

羽曳野市では、石川臥龍橋北西側の三角帯に大量繁茂が見付かりました。今後広げないためには、タネをつける前に刈り取ることが望まれます。花そのものには罪はなく、景観上も寂しくなりますが、多様な生物を守るためには必要ですので、ご理解ください。



なお、特定外来生物は「飼養」が一切禁じられ、罰則も有りますのでご注意ください。

※飼養＝飼育・栽培・運搬・保管など、もちろん譲渡も違法です。

環境省：環境カウンセラー、大阪府自然環境保全指導員 福田 裕

